

あかるく  
なかよく  
たくましく



# 学校だより

武岡台養護学校 令和3年 3月9日 (火)

学校ホームページアドレス  
<http://www.edu.pref.kagoshima.jp/ss/Takeokadai-H/top.html>

ありがとう

「がんばったね」「よくできました」



の魔法の言葉



教頭 満尾 泰浩

「がんばったね」「いいね」「よくできました」「ありがとう」の言葉を毎日誰かに伝えてますか?…という私も反省ですが。

「がんばったね」「よくできました」の言葉を掛けられたときの経験を思い出してください。私たちの感情はプラスに働き、気分良く過ごせるものです。よく魔法の言葉と言われる感情をプラスにしてくれる言葉は、子供たちの精神面の成長にとっても重要になります。

ある調査で、日本の高校生に「自分はだめな人間であるか?」という問いをしたら72.5%が「はい」と回答しています。同じ質問で米国は45.1%、韓国は35.2%が「はい」という回答でした。文化の違いなど、数字だけで判断できませんが、日本の高校生の多くは、自分を認める、自分を好きになるということ、ありのままの自分を認めるということ＝自己肯定感が低いということが浮き彫りになっています。

本来人間は、根底に、絶対的な安心感をもてること、どんな自分もありのままに認めてもらえることを求めています。特に、子供たちは、親や先生に絶対的な安心感を求めています。成長していく様々な環境の中で、自己否定につながる環境、言葉、人間関係の狭間で、自分を否定的に捉えてしまうケースが多くあります。そして、自己肯定感が低いままだと、すぐに諦める、挑戦しない、物事を否定的に捉えるという傾向になります。一方、自己肯定感が高いと少しの失敗でも諦めない、挑戦する気持ちを持ち続けられる、物事を肯定的に捉えるなど、自己成長につながる視点を持ち続けられます。

この自己肯定感は、幼少期からの環境、関わり方が非常に重要ですが、どの年代からでも高めることができます。将来、失敗を恐れず、自分を肯定的に捉え、自己成長を続ける子供たちを育てるために、学校でも、家庭でも、「今日もがんばったね」「よくできました」の言葉を子供たち、そして大人同士でも伝え続けていきたいですね。・・・このコロナ禍、特に大切にしたいです。

## ～卒業を迎えて～

### ＜小学部＞

小学部を卒業する27人の皆さん、御卒業おめでとうございます。みんなが元気にこの日を迎えることができ、正直ほっとしているのと同時に、感謝の気持ちでいっぱいです。

「かっこいい!さすが!たのもしい6年生!!」を合い言葉に様々なことに挑戦し、見事下級生のお手本となるすばらしい6年生に成長しました。よく頑張りました。

みんなが主役、全集中で走って、踊った「たけリンピック」。出発できてほっとしたプレミアムな「修学旅行」。秋空の下、親子の絆を深めながら坂道を歩いた「親子ウォーキング大会」。学習発表会よりも大作になった劇「はだかになった王様」。苦手なマスクを付けて、雪が舞う中出掛けた「校外学習」など思い出は尽きません。

そして、何よりも何気ない日常が大切な思い出になっています。ソーシャルディスタンスと言いながらも、家族のように心を通わせたひだまりのような空間がたまらなく居心地よく、幸せな時間でした。ありがとうございました。

また、学級を越えて学年の友達や先生とよく笑い、よく学び、よく遊び、汗と涙を流した6年生はとても素敵です。

これからも感謝の気持ちを忘れずに大きく成長し、中学部での更なる活躍を楽しみにしています。これからも応援しています。

(小学部第6学年 学年主任 藤井宏行)



## < 中学部 >

中学部を卒業する18人の皆さん、御卒業おめでとうございます。3年間を振り返ってみると、笑顔にあふれ、優しさと素直さで、大きく成長した3年間だったと思います。1年生の頃は、大きめな新しい制服に身を包み、新しい友達に出会い、新しい生活にドキドキとワクワクの毎日でした。大河ドラマ『西郷どん』が放送され、鹿児島は西郷どんの話題であふれていました。西郷どん館で調べ学習をしたり、学習発表会で西郷どんのテーマ曲を演奏したりした様子を思い出します。2年生では、宿泊学習で南薩少年自然の家に宿泊し、万之瀬川でカヌー体験をしました。初めての体験に笑い声が絶えなかったことを思い出します。3年生では、鹿児島をめぐる修学旅行に行きました。ホテルで2泊したり、染め物体験をしたり、ブドウ狩りをしたりしました。ホテルでのディナーやそうめん流し、バーベキューなどおいしい物もたくさん食べました。これまで行ったことのある場所も友達と一緒に、新しい発見や感動があったと思います。感染症対策でいろいろなことが制限される中、自分たち自身で手洗いや消毒などに気を付けて活動した姿には3年生らしく頼もしく思うことでした。ほかにも、社会見学や総合的な学習の時間、学習発表会などみんなで協力して積極的に取り組んだ活動に成長を感じました。

中学部を一緒に過ごした18人の絆はこれからも続きます。更に、新しい友達や先生と出会い成長していくことでしょう。これまで支えてくれた友達や家族、先生たちへの感謝の気持ちを忘れずに、これからも自分の道を一步一步、進んでいってください。これからの人生も明るく笑顔で、優しくたくましく、そして楽しく歩んでください。これからも、ずっとずっと応援しています。

(中学部第3学年 学年主任 川路康雄)



## < 高等部 >

高等部を卒業する36人の皆さん、御卒業おめでとうございます。

入学の時は38人でスタートした仲間たち、1年生の時には悲しい別れもありました。2年生になり南部支援教室の仲間が増え、運動会、学習発表会、産業現場等における実習等の様々な経験を通して、大きく成長してきました。「Grab my dream～夢をつかめ!～」を合い言葉にスタートした高等部最後の本年度は、コロナウイルス感染拡大のため、運動会、学習発表会と大きな行事が全て中止となってしまいました。でも、その分毎日の学習を大事にしてしっかりと力を付けることができました。グループごとに分かれて、卒業後に必要な力を付けるための生活単元学習の時間には、それぞれが自分の課題に向き合い取り組むことができました。また、総合的な学習でも、冠婚葬祭について調べ、まとめ、発表し合うことでさらに学習を深め、その実践として、社会見学では結婚式場の見学、テーブルマナーについて体験的に学ぶことができました。

友達関係でも、お互いにぶつかり合ったりしながら、時には傷つき、お互いを知り、良さを認め合いながら共に成長する仲間になっていきました。何事にもキラキラした目で積極的に取り組むことのできる仲間たちでした。これからも、周りの人たちへの感謝の気持ちを忘れずに自分の夢に向かって進んでいってほしいと思っています。皆さんが夢を追いかけ続けることができるように、ずっとずっと応援しています！

(高等部第3学年 学年主任 下野千春)

